

# 近況報告～笠松美智子様～

## 美智子の虹色日記より

### 「冥土のみやげ」(2014.2.22)

私にとっての今年一番の、いや、一生に一度のビッグイベントが 3 月 11 日にあります。東京の武道館で開かれる ILDIVO (イル・ディーヴォ) のライブコンサートに行くことになったのです。

今から 7～8 年前のある日、ラジオから素晴らしい歌声の「アベマリア」が聞こえてきました。あまりにも美しい歌に心が奪われ、誰が歌っているんだろうと耳を澄ましていました。アナウンサーが紹介した名前を妹にインターネットで調べてもらい、CD と DVD を買ったのがイル・ディーヴォとの出会いです。

イル・ディーヴォは、イギリスのプロデューサーが結成したフランスのポップス歌手とスペイン、スイス、アメリカのオペラ歌手、合計 4 人のグループです。いずれもハンサムでスマート、アルマーニのスーツを着こなし、自家用ジェット機で世界中でコンサートを開いています。日本にも今まで 3 回来ましたが、チケットは即日完売で入手は困難でした。

先日、ヘルパーさんが「イル・ディーヴォ日本に来るよ」と教えてくれ、行く決心をしました。ストレッチャーでの飛行機の移動やバリアフリーのホテルなど色々困難はありましたが、なんとかクリアできました。

ヘルパーさんと友人と義弟の全部で 6 人で「冥土のみやげ」の一泊二日の大冒険にもうすぐ出発です。



## 「夢のよう」(2014.4.19)

イル・ディーヴォのコンサートを観に行ってから一ヶ月たちました。いろいろ不安はありましたが、周りの方の十分な準備のおかげで日程もスムーズで、何のトラブルもなく無事に行ってくることが出来ました。

飛行機での移動は、窓際の普通座席を4人分取り払って簡易ベッドのようになったところに横になっていました。初めての経験でどうなるのだろうとドキドキしましたが、案外苦痛もなく家のベッドで寝ているのと同じでした。ただ、気圧の関係で耳が痛くなり、周りの音が聞こえなくなったのが困りました。

コンサート中も、首や背中や腰が少し痛くなりましたが、呼吸困難にもならず、楽しむことが出来ました。武道館満員の会場にイル・ディーヴォが登場した時は、憧れていた4人が目の前にいるなんて、と夢のようでした。歌はもちろんのこと、オーケストラの生演奏や照明もすばらしく2時間半があっという間に過ぎました。

翌日はホテルのレストランで朝日を浴びながら、遠くの羽田空港の飛行機の離発着が見える席で朝食をとりました。スープ、ジュース、コーヒーどれも美味しくおかわりをしてたくさん飲みました。ホテルの従業員もみんな親切で、さすがはバリアフリーの部屋を備えているだけのことはあると思いました。

札幌に帰ってから、このコンサートの生中継を映画館やTVで観た友人やヘルパーさんとイル・ディーヴォの話で持ち切りになったのも嬉しいことでした。



笠松美智子様と、金沢公明様（日本ALS協会常務理事）